

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	現在センター方式B3を活用している。利用者様の一日の生活の中で、気分や状態の変化について、職員間で捉え方の違いが感じられる。	センター方式D4を活用することで、本人の一日の気分、状態の変動とその背景を把握し、予防的に関わるタイミングや内容を見つける。	気分や状態の変動の激しい方を対象に、センター方式D4を最低でも2週間活用することで、どうすれば悪い状態を回避できるのか、よりよい状態を保つことができるのかを知り、統一した支援に努める。	12ヶ月
2	25	訴えや発語が少なく生活全般にわたり介護を要する利用者が全体の半数はいる現状での支援の取り組み。	その人らしい生活を支援するためにできるだけ多くの時間を持って接するように努め、その人の表情を読み取りコミュニケーションを図る事で発語や表現ができるその人らしい支援に取り組む。	その方の性格、生活歴、体調を考慮しながら相手の目を見ながら、ゆったりと明るい笑顔で、分かりやすい言葉で親しみを込める。笑顔や短い発語が聞けるような、五感を刺激したり楽しいと感じる場面を作るなどの支援に取り組めます。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。